

○鶴形地域の人・農地プランについて

1. 協議の場を設けた区域の範囲

鶴形地域

(集落) 3集落

鶴形、谷地、金拓

2. 協議の結果を取りまとめた年月日

令和2年3月27日

3. 当該地域における今後の地域の中心となる経営体(担い手)状況

○経営体数

法人	3	経営体
個人	23	経営体
集落営農(任意組織)	0	組織
合計	26	経営体

○農地面積

地域内の農地面積

337ha

農地中間管理機構への集積面積

7.4ha

(令和2年3月末現在)

4. 将来の農地利用のあり方

取組事項	対応
担い手に集積・集約化する	○
担い手の分散錯圖を解消する	○
新規参入を促進して、新規参入者に集積・集約化する	
耕作放棄地を解消する	○

5. 農地中間管理機構の活用方針

取組事項	対応
地域の農地所有者は、原則として農地中間管理機構に貸付ける	○
農業をリタイア・経営転換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○
担い手の分散錯圖を解消するため利用権を交換する人は、原則として農地中間管理機構に貸し付ける	○

6. 地域農業の将来のあり方

- ・認定農業者26名(うち地域外認定農業者6名)を中心経営体として、農地の集積を進める。
- ・経営規模の拡大と作業の効率化が図られるよう、鶴谷新田地区および担い手の経営地周辺の団地化を進める。
- ・上ノ山台・上ノ山地区および山間部の農地等については、鶴形そば製造加工(株)が中心となり、そばの作付拡大を図る。
- ・古くからの「そば文化」を継承していくため、鶴形そば製造加工(株)、鶴形地区そば生産組合を中心に、そばの産地化に取り組む。
- ・また、鶴形そばまつりの開催や各種イベントへの参加等により、鶴形そばの知名度を高め、そばの消費拡大を図る。
- ・さらなる、そばの消費拡大のため常設店舗の開設を検討する。